

連盟だより

公益社団法人 日本精神保健福祉連盟

Japan Federation for Mental Health and Welfare



2023-10.1

通刊 77号



公益社団法人 日本精神保健福祉連盟 理事長就任のご挨拶

公益社団法人日本精神保健福祉連盟 理事長 **長瀬輝誼**

このたび、令和5年6月14日付をもちまして（公社）日本精神保健福祉連盟理事長に就任いたしました。本年は創立70周年を迎え、長い歴史を持つ日本精神保健福祉連盟の理事長を務めさせていただくことは私にとって大変光栄なことであります。

長年にわたり当連盟の発展にご尽力いただきました 鮫島 健 会長が今年5月に亡くなられました。心よりご冥福をお祈り申し上げる次第です。

そして、新たに 鹿島晴雄 理事長が会長に就任されました。

これからは加盟11団体の皆様のご支援とご協力により、鹿島会長をはじめ役員の方々、事務当局の助けを得て努力するつもりですのでよろしくお願い申し上げます。

さて、昨年12月に障害者総合支援法等の一部改正が行われ、精神障害を有する方が医療、福祉、住まい、就労等のサービスを切れ目なく受けられる体制を整備するため、多岐にわたる事項について見直しが行われました。

このうち、今年4月に改正精神保健福祉法の一部が施行され、入院時の告知や、家族が虐待等の加害者である場合の医療保護入院時の対応について、見直しが行われました。

また、令和6年4月には、医療保護入院手続きの見直しや、虐待防止に向けた取り組みにかかる改正の施行が予定されています。

ところで、本連盟の主要な行事である第69回精神保健福祉全国大会は、令和4年10月14日に山口県山口市、市民会館大ホールで、令和2年から長引くコロナ禍の状況下において、新型コロナウイルス感染症が収まらない中、オンラインのハイブリッド方式で開催いたしました。

本年度は、第70回精神保健福祉全国大会が大分県において、令和5年10月27日に厚生労働省と共催で「誰もが安心して暮らせる地域社会の創造」をテーマに、第70回という節目である本大会を通して、関係者並びに地域の方々と精神保健福祉に関する理解を深め、正しい知識の普及と精神保健福祉の推進を目指して開催されます。

また、当連盟は、今年創立70周年を迎え、記念事業として元プロマラソン選手の有森裕子氏より「精神保健福祉領域におけるスポーツの力」、そして東京大学名誉教授の島藺進氏より「孤立・孤独の広がり」と宗教・スピリチュアリティの役割」と題してのWEB講演会による特別講演を令和5年6月13日から19日までオンデマンド配信を行い、大変好評を得ました。

他にも、正会員11団体による各団体の紹介動画や、厚生労働省、精神保健福祉関係者による70周年記念メッセージなどが披露されました。

さらに、その他の事業では、精神障害者スポーツ振興を図ってきています。全国障害者スポーツ大会の正式競技種目である精神障害者バレーボールのブロック地区予選会の開催、精神障害者卓球が個人競技として開始されました。また、精神障害者フットサル、精神障害者バスケットボールなども着実に活動を広げています。

最後に、本連盟は正会員並びに賛助会員の団体及び個人の援助により成り立っており、今後とも変わらぬご支援を賜りたく、関係各団体のますますのご発展をお祈り申し上げます。

第48回日本精神科看護学術集会を開催して

一般社団法人日本精神科看護協会 業務執行理事 金子亜矢子

当協会では、年に2回の学術集会を開催してきましたが、コロナ禍では、学術集会の中止やオンラインでの開催となりました。オンライン学術集会は2020年と2021年とで合わせて3回開催し、移動時間や移動・宿泊費用が削減でき参加しやすくなったという方がいる一方で、対面での交流を望む声も多くあがっていました。そこで、2022年からは現地開催を再開し、オンデマンド配信と合わせたハイブリッド開催に踏み切りました。しかし、医療現場では感染対策を優先しなければならず、来場参加者は増えにくい状況でした。

2023年6月に北海道札幌市で開催した第48回の学術集会もハイブリッドでしたが、お陰さまで920名もの参加者がありました。学術集会主題は、今の時代に私たち精神科医療・看護に求められていることは何か、それぞれの立場で現状を見直し、精神科看護のあり方を見出す機会になるよう「あらためて問い直す精神科看護のあり方」としました。

基調講演では、当協会会長の吉川隆博が、自身の精神科看護の経験を踏まえ「私なりに問い直したい10項目の内容」を解説し、「これから」を考える機会となりました。シンポジウム「今求められる精神科看護」では、当事者、家族、看護師がシンポジストとなり、当事者、および家族の立場からは、今までの精神科看護とこれからの精神科看護に期待することを、精神科看護職の立場からは、これからの精神科看護で行わなければならないことを話していただき、フロアとのディスカッションが盛り上がりま

した。

また、日精看のホットな活動内容や精神科看護にかかわる情報提供と意見交換を行う企画として、2021年より開催している精神科看護CONGRESSでは、「精神保健福祉法の改正により行政機関や医療機関の看護職員に期待すること」「虐待をどのようにとらえ、組織文化を醸成していくかを考える」「ひきこもり状態の方の支援・訪問看護師のスキルについて考えよう」「精神科看護職のクリニカルリーダー導入への道を振り返る」「今求められている！看護外来のプロフェッショナルリズム」「これからの精神科認定看護師制度」という6つのテーマを取り扱いました。

その他、教育セミナー「身体的拘束に頼らない看護実践を探究する」や支部企画「精神科認定看護師が、あらゆる対象に応じた現任教育を振り返る！」と、公益財団法人アイヌ民族文化財団のアイヌ文化活動アドバイザーによる特別企画「日本人との共生？」等、幅広い内容となりました。

さらに、看護研究等は196題の発表があり、ともに学びあえる機会や交流の場を提供する自主企画は20題を超える発表となり、演者と参加者の活発な質疑応答や対話の場となりました。

これからも、最新の知識を得たり、現場での質の高い看護実践に関する発表を聴いたりできる内容の濃い学術集会を企画・運営していきたいと思っています。機会がありましたら、ぜひご参加ください。お待ちしております。



基調講演中の吉川会長



会場の様子



動き movement

熊本県精神保健福祉協会の動き

公益社団法人熊本県精神保健福祉協会 会長 **竹 林 実**

熊本県精神保健福祉協会は、昭和35年に熊本県民の精神保健福祉の向上を図ることを目的に設立され、職場のメンタルヘルスの普及、精神障がいに対する理解の促進、自殺予防に係る啓発活動等、心の健康づくりを推進する機関として発足し、今日に至っています。

いくつか事業を紹介しますと、昭和59年に電話相談事業「熊本こころの電話」を開設しましたが、この電話では当協会独自に養成したボランティアカウンセラーが、相談者お一人お一人に寄り添いながらこころの悩みをお受けしています。昨年度は新型コロナウイルス感染症の影響等による夜間の相談ニーズが高いことから、熊本県の委託を受け、新たに19時から22時の夜間電話を実施し、併せて、6,125件もの相談に応じ、夜間の相談体制の重要性を感じたところです。

また、新型コロナウイルスの影響で中止を余儀なくされていた「熊本県精神保健福祉大会」を3年ぶ

りに開催し、昨年度で58回目を迎えることができました。大会では、当県で著名な元ローカル局アナウンサーによる「暮らしの中の優しいコミュニケーション～聞く、話す支え合い～」と題した講演を行い、一般の方への精神保健福祉の普及・啓発として分かりやすい内容で、参加者から大変好評とのご意見をいただきました。同時に精神保健福祉功労の協会長表彰、知事表彰等も実施し、これからの活動の糧となれればと思います。

その他、精神障がい者のリハビリテーションの紹介や理解を深めてもらうための「精神障がい者の作品展示事業」、精神科医療・保健・福祉の基礎的な知識や社会資源をまとめた機関紙の発行等を行っておりますが、近年、会員数が漸進減少しており課題となっています。今後とも行政機関・関係機関と連携、協力しながら、心の健康づくりの推進に取り組んで参りたいと思います。



動き movement

秋田県精神保健福祉協会の動き

秋田県精神保健福祉協会 会長 **三 島 和 夫**

秋田県精神保健福祉協会の前身である秋田県精神衛生協会が昭和37年12月に設立されてから今年で60年目を迎えました。秋田県は人口減少と少子高齢化がもっとも著しい県の一つで、高齢者のうつ病や自殺率の高さが毎年のように報道されます。地域の過疎化も進み、医療や福祉へのアクセスが困難な地域も少なくありません。そのような厳しい生活環境の中、当協会は県民の精神衛生や精神保健の向上のために、県内9支部と連携しながら研修会や文化交流を図っています。

新型コロナウイルス感染症の影響で、令和2年度の研修事業は見送らざるを得ませんでした。令和3年度は第60回精神保健福祉東北大会を秋田市で開催できました。「共に考えるひきこもり支援～今、私たちにできることとは～」をテーマに、筑波大学の斎藤環教授をお招きして、ひきこもり支援について県や自治体の支援窓口の担当者、NPO代表者な

どによる有意義なディスカッションを行うことができました。ほかにも過去5年間に研修会で取り上げたテーマは、「認知症とともに歩む」「成年後見制度」「さまざまな依存症」「発達障害の支援」「障がい者の就労支援」「口腔ケア、睡眠ケア」など多岐にわたります。また令和3年度からは厚生労働省の地域生活支援事業として「精神障害者支援の障害特性と支援技法を学ぶ研修会」を開催し、多くの関係者にご参加いただいています。令和4年度以降の研修会でもハイブリッド開催によりコロナ禍以前と変わらない多くの会員にご参加いただくことができています。とはいえ、リモート開催では人的交流が希薄になりがちですので、次年度以降は対面開催に移行する予定です。今後も当協会は精神保健福祉の向上に鋭意努めて参ります。

公益社団法人 日本精神保健福祉連盟 加盟団体(社員名簿)

〒108-0023 東京都港区芝浦3-15-14 日精協会館内
 TEL 03-5232-3308 FAX 03-5232-3309
 会長 鹿島晴雄 理事長 長瀬輝諠

令和5年8月現在

種類	名称	所在地	TEL/FAX	代表者
公益 財団法人	日本精神衛生会	〒101-0052 東京都千代田区神田小川町3-1-10 メディカビル3F	03-3518-9524 03-3518-9524	理事長 小島 卓也
公益 社団法人	日本精神科病院協会	〒108-8554 東京都港区芝浦3-15-14	03-5232-3311 03-5232-3309	会長 山崎 學
公益 財団法人	復光会	〒273-8540 千葉県船橋市市場3-3-1	047-422-3509 047-423-0432	理事長 松本 雄策
公益 財団法人	矯正協会	〒165-0026 東京都中野区新井3-37-2	03-3319-0640 03-3319-0643	会長 藤本 哲也
一般 社団法人	全国精神保健福祉連絡協議会	〒210-0024 神奈川県川崎市川崎区日進町5-1 川崎市総合リハビリテーション推進センター気付内	044-200-2510 044-200-3974	会長 竹島 正
公益 社団法人	全日本断酒連盟	〒101-0032 東京都千代田区岩本町3-2-2 エスコート神田岩本町101号	03-3863-1600 03-3863-1691	理事長 伊藤 聰
一般 社団法人	日本精神科看護協会	〒108-0075 東京都港区港南2-12-33 品川チャンネルビル7階	03-5796-7033 03-5796-7034	会長 吉川 隆博
公益 社団法人	アルコール健康医学協会	〒113-0033 東京都文京区本郷3-25-13 グラン、フォークスV本郷ビル4階	03-5802-8761 03-5802-8763	理事長 田中 慶司
公益 社団法人	日本精神神経科診療所協会	〒151-0053 東京都渋谷区代々木1-38-2 ミヤタビル701	03-3320-1423 03-3320-1426	会長 三木 和平
公益 社団法人	日本精神保健福祉士協会	〒160-0015 東京都新宿区大京町23-3 四谷オーキッドビル7F	03-5366-3152 03-5366-2993	会長 田村 綾子
一般 社団法人	全国手をつなぐ育成会連合会	〒160-0023 東京都新宿区西新宿7-17-6 第三和幸ビル2F-C	03-5358-9274 03-5358-9275	会長 佐々木桃子

賛助会員 募集



会費

毎年4月1日から始まり、翌年3月31日までを
事業年度としています。

【年会費】 個人 一口 5,000円以上

団体・法人 一口 30,000円以上

※ 年度途中のご入会につきましても当該年度分
を納入して頂くことになります。

入会

「賛助会員入会申込書」に記入
の上、FAX、郵送、メールにて
直接連盟事務局へ届け出下さい。

入会については、当連盟理事会
において承認を得た後、追ってご
通知申し上げます。

〈編集後記〉

連盟だよりNo. 77をお届けします。

当連盟で長きにわたりご指導いただいた、浅井邦彦先生がご逝去されました。特に、1993年の世界精神保健福祉連盟の世界会議では、大会長を務められたことは忘れがたいものがあります。心より哀悼の意を捧げます。

さて、(公社)日本精神保健福祉連盟理事長に新たに就任した長瀬輝諠先生より決意が述べられています。鹿島晴雄新会長をはじめ役員一同、精神保健福祉のますますの活性化に努力する所存です。

今年度はコロナ禍も収まり、精神保健福祉全国大会、全国障害者スポーツ大会も予定通り開催できそうです。会員各位のご健康を祈念するとともに、一層のご協力をお願い申し上げます。(M. O.)

編集委員会

委員長 大西 守 公益社団法人日本精神保健福祉連盟常務理事
 委員 高畑 隆 一般社団法人全国精神保健福祉連絡協議会監事
 中庭 良枝 一般社団法人日本精神科看護協会本部事務局本部長
 中田 貴晃 キューブ・インテグレーション株式会社社
 松井 知子 杏林大学元教授

発行 2023年10月1日

発行者 公益社団法人 日本精神保健福祉連盟

会長 鹿島晴雄

〒108-8554 東京都港区芝浦3-15-14

TEL 03-5232-3308 FAX 03-5232-3309

Email : office-renmei@f-renmei.or.jp

HP : http://www.f-renmei.or.jp/

